

# ムダ使いはやめて、学校現場の老朽化・不具合の改修を！

8月12日、日本共産党市議団で「学校ウォッチング」を行いました。今回は、「清水小」「楠中」「出水中」です。

## 【清水小学校】トイレが臭い・ひび割れ漏水・音楽室は40度以上に



(暗くて臭いトイレ)

(廊下と教室の間の壁に大きな「ヒビ」が)



西日の入る音楽室は、40度以上です。熱で、ワイヤーガラスに「ヒビ」が入っていました。

清水小には、玄関もありません。

## 【出水中】体育館倉庫下から水が湧く・プールとプールサイドに隙間



(体育館倉庫下から水が)

老朽化した体育館は、校名の通り、倉庫から水が湧き出ます。プールとプールサイドには「隙間」があって指を挟みそうで危険です。



(プールの隙間は危ない)

冷暖房の問題では、音楽室・特別支援学級にエアコンを設置する方針ですが、今年度は設計予算だけです。補正を組んですぐに設置すべきです。

桜町大会議場 300億円、花畑町広場 40億円のムダ使いをやめ、凍結されてきた大規模改修や体育館・プールの改修も早急にすすめるべきです。

## 【楠中】天井がはく離・流れ先のない流し

廊下・踊り場の天井がはげ、木製枠の窓は老朽化しています。校庭の掲揚台は傾いて危険です。渡り廊下の雨どいも壊れています。



(流れ先のない「流し」は3年使っていない)

毎年、予算編成に向けて、各学校から多くの要求が出されます。しかし、そのほとんどが、改善されないまま、翌年度も同じ要求が繰り返されています。古い・汚いだけでなく、危険なものもあります。一つ一つの要望に、早急に対応していく必要があります。

(控室から)  
球児たちの夏

なすまどか



夏の甲子園——汗びっしょりになりながらも、遅しうくはつらつとした球児たちのプレーに元気をもらっています。同時に、自らも野球に打ち込んだ高校時代を懐かしく思い返します。

勝敗が決する瞬間瞬間のプレーに球児たちの3年間が凝縮されています。一つのプレーが勝利を呼び込むこともある、一生忘れられない敗戦の原因となることもある。

今から20年前。3点差で負けていた最終回、私の打った打球は力なく転がり、試合を終える最後のバッターとなってしまいました。仲間にも申し訳ない思いで、悔し涙をこらえられませんが、チームメイトは私を責めるのをやめ、「肩をぐっぐんと包んでくれました。今でも忘れられないシーンです。

優勝旗をつかんだ一つのチーム以外は、必ず負けて夏を終えます。しかし、どの球児にとっても、同じ時間を過ごしてきたチームメイトや何物にも代えがたい3年間の経験は財産として残っています。

胸を張って帰ってきつてほしい。元気をくれた選手たちに心からのエールを送りたいと思います。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団  
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか  
熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 863  
2013年8月25号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



# 「国連“生命の水”最優秀賞」 受賞記念シンポジウム」開かれる



熊本市は、2013年3月22日、オランダ・ハーグ市で開催された「世界水の日 国際式典」において、「国連“生命の水”最優秀賞」を受賞しました。世界の34都市がエントリー、熊本市は日本初の受賞です。

熊本地域の広域的な地下水保全の取り組みが優れた水管理の事例として評価されたものです。

国連は、2005～2015年を“生命の水 (Water for Life)” 行動のための国際10年と定め、世界の各都市の優れた水管理を推進するため、特に顕著な取組み事例を2011年から、「国連“生命の水 (Water for Life)” 最優秀賞」とし、「世界水の日」3月22日に表彰しています。

## 国連水関連機関調整員会事務局代表 ピラー・ゴンザエレス・メヤウイさんの オープニングスピーチ

「賞の選考にあたり、社会の平等や貧困撲滅、住環境改善など、持続可能な恒久性があるか、などの評価基準に基づき審査されました。・・・さまざまな団体との協力のもと、地下水を保全し、すべての市民に質の高い水を提供してほしい。」と述べられました。

### 【評価された内容】

#### 「自然のシステムを利用した地下水保全」

熊本地域の水循環・水田を活用した地下水涵養・節水の市民運動・広域連携（くまもと地下水財団）などの取り組みが評価されました。

### パネルディスカッション

#### 「世界からみた熊本の地下水保全」

(コーディネーター) 嶋田純氏 (熊本大学教授)

(パネラー) ピラー・ゴンザレス・メヤウイ氏

田中正氏 (筑波大学教授)

大住和佑氏 (水と緑のワーキンググループ)

山内卓氏 (山内本店社長・醤油)

紫藤和幸氏 (大菊土地改良区事務局長)

(ゴンザレス氏) 地下水は、重要な資源であり、世界が熊本から学ぶことは多い。地下水の持続可能性を共有し、水量だけでなく、水質にも拡大して取り組んでほしい。

(田中氏) 熊本は、行政界を超え、流域として地下水保全に取り組んでいる。それが世界に先駆けて行われている。

(紫藤) 地下水保全には、農業を守ることが必要。

(大住) 地下水保全には、都市開発のあり方も考えないといけない。

(山内) 使った水は返す取組みをしている。

建築政策研究所・地方議員研修会報告 (8月1-2日) 上野みえこ

## 過疎地域の公共交通が

## こんなに面白い!



(お話) 京都府・京丹後市役所 企画政策課 野木主任

### 交通をめぐる環境は大きく変化

全国的にも、公共交通機関の輸送人員は減少傾向。採算悪化に伴い、運賃の値上げ、一層のサービス低下という負の連鎖をもたらしている。

しかも過疎地域の日々の移動手段確保は一層深刻。(京丹後市人口6万人)

### 京丹後市は「路線バス再生」を選択

① 安全面で優れている

② 公共交通体系の中心である

③ 地域力の発揮につながる

ことの3つの理由から、「路線バス再生」を選択。

### 公費負担で「上限200円バス」運行

運賃・車両・タイヤ・バス停・運転・ニーズ把握・積極的な宣伝等を行政と事業者の協働でよくしていく。

公費負担を有効に使い、「上限200円バス」を運行。乗車人員が増えれば、財政支出を抑えられる。多くの市民が乗って、よろこんでもえらえることで、「住民福祉」の増進に。

### 【工夫されたこと】

- ・上限200円の低額運賃
- ・利用者ニーズに基づくダイヤ改正
- ・病院・ショッピングセンター玄関への車両乗り入れ
- ・わかりやすいバス時刻表
- ・運転手の幼稚園・保育所への出前講座
- ・利用者アンケート実施 など

### 知ってもらう、乗ってもらう、愛用してもらう

作り手・利用者両方からの情報発信、運航路線の維持充実・バス停拡充など、低運賃200円化、利用機会の創出(通勤・通学)、ノーマイカーデー、学校・公民館・老人会活動に利用、利用者との意見交換。

### そして、……

お客さんが少しずつ戻り、  
運転手さんと市民の距離も縮まり、  
喜ばれるバス交通になり、  
市民との協働も増えました。

……  
ということを、市役所職員が生き生きと語られました。